

『人権』について学びました。

12月4日～12月10日の「人権週間」にちなみ、本校でも『人権』についての学習を実施しました。

人権とは、だれもが平等にもっている幸せに暮らす権利です。その権利を阻害する要因の一つに、様々な差別や偏見があります。私たちは、他者との違いを認め、相互に尊重しあう必要があります。

学校では、全校道徳や人権集会、車椅子体験やアイマスク体験、シルバー体験（高齢者疑似体験）、人権標語作りなどの学習を通して、自分とは違う立場の様々な人達がいることや、その違いを認めること、その理解の上で、自分たちは何をどのようにすればいいのか等について学びました。



平らな床の上ではスムーズに動きます。



英語で、「人権」は、Human Rights です。Human は「人」、Rights は「正しいこと」。人権とは、人として正しいことをすることでもあります。

誰かを馬鹿にしたり、意地悪したりしてはいけないこと等、みんなが人として正しいことをすることが、人権を大切にすることであることを学んでくれたと思います。

差別や偏見を持たず、相手を認め、尊重し、思いやりを持って生きていくことがみんなの幸せにつながります。その土台には、自己肯定感、つまり「自分の事を自分で認め好きであるか」と言うことがあると思います。自分を好きで大切だと思えないのに、他者を大切にしたり、思いやったりすることはできないでしょう。

自分を大切な存在だと自覚し、大好きだと思える子ども達を育てたいと思います。

少しでも段差があると大変です。ゆるやかな坂道でも怖くて不安です。上るの力が必要でとても大変です。

アイマスクで目隠しをして階段を上っています。目が見えないと歩くのがすごく不安で怖いです。

腰塚勇人という方の「五つの誓い」をご紹介します。せっかく使える私たちの体。差別や偏見、意地悪やいじめなどをするためにではなく、こんな使い方をしてほしいものです。

『五つの誓い』

- 口は、人を励ます言葉や感謝の言葉言うために使おう
- 耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
- 目は、人のよいところを見るために使おう
- 手足は、人を助けるために使おう
- 心は、人の痛みがわかるために使おう

